

なかつか 亮



「この歳で、引越すなんて考えられない」

住民追い出す29号線道路は中止を

品川区議会第一回定例会 日本共産党

用地取得は数%のみ

「測量、調査、捺印等の一切の協力はしません」と29号線に反対するステッカーが各地域に張り出され、用地取得率も大崎地区3%、戸越地区4%、豊町地区9%、西大井地区7%とごくわずか。境界立ち会いですら、約2割の方が拒否（建設局昨年9月時点）するなど、2020年完成は完全に不可能な状況がわかりました。

巨額な税金を使って

住民の土地を買収し、

20m道路を新たに

くる29号線計画に立

ち退きを迫られている

住民から引き続き反対

の声があがっています。

この道路は70年前

の終戦直後に作られた

とされるもの。住民か

らは「急に防災対策だ

からというが口実にし

ぎない」「70年もた

ち街の様子も様変わり、

時代錯誤の計画に、巨

額な税金を使うとはお

かしい」「道路より保

育園や特養ホームにこ

そ税金を使って」と声

があがっています。

かつて品川区議会で

は3度の反対決議を全

会一致で可決。ところ

が品川区長が都と連携

し計画推進を示すと、

自民、公明ら与党は賛

成へと態度を急変。そ

のため住民との間に様々

な問題が起きています。

高齢者からは「ずっ

と地域なかく暮らし

てきたのに、突然に道

路をつくるから土地を

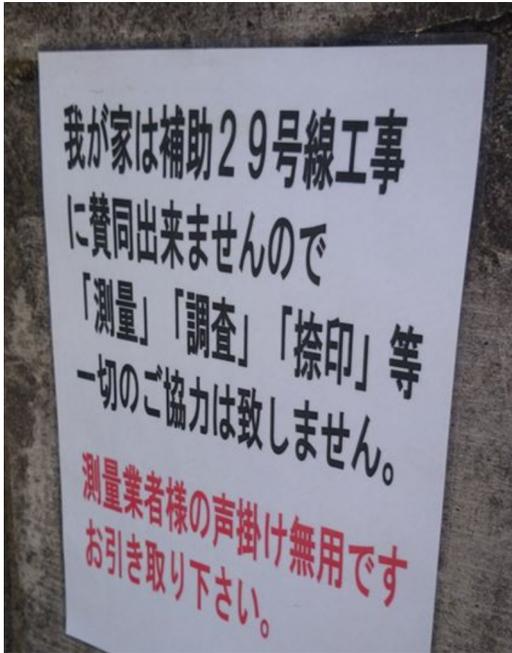
売ってほしいとはひど

い。この年で新しい土

地に引越すなんて考

えられない」と不安を

かたります。裏へ



2月末より始まった区議会にて、改めて29号線道路の中止を求めました。

区はこの計画を「震災時の火災拡大が道路で焼けどまる」と説明します。

新潟の糸魚川では147棟の住宅が火災の拡大で焼失するという深刻な被害をもたらしました。

ところが都の資料には、仮に29号線道路が完成しても500棟以上の住宅焼失を想定しています。

そこで共産党は「糸魚川と比較にならない程、燃え広がる想定はどこが防災対策なのか」とたどりました。

しかし区は道路建設と沿道不燃化で「燃えない、燃え広がらない

街が実現」とあくまで防災対策だと説明。根拠が無くても、住民に防災対策だと言えば、説得できるとでも考えているのでしょうか。

防災対策とは

首都直下大地震の被害から住民を守る防災対策とは、新たな道路建設ではなく、被害を防ぐ住宅耐震化や感震ブレーカー、避難所運営の改善こそ急務です。

結局、この計画の狙いとは、巨額な税金で住民の土地を買収し道路を整備。そして道路の沿道に「高層マンションを建設したい」が本当の狙いでは？。住民よりも一部の利権を優先する「政治の闇」が道路問題にも共通です。無駄な道路は中止させるしかありません。

羽田空港

国際線増便問題

品川低空飛行は中止を



集会で挨拶をする白石たみお都議（中央）と山添拓参議院議員、共産党品川区議団。右は大井町駅前でのデモ行進。



3月19日（日）に開催された、羽田増便による品川低空飛行に反対する第8回目の集会&デモ行進が大井町駅周辺で開催され、100名を超える方が参加しました。企画をした「区民の会」は「多くの人に危険な計画を知って頂いて、いっしょに反対の声をあげよう」と力強く訴え、当日は共産党より山添拓参議院議員、白石たみお都議、共産党区議団、生活者ネットより吉田区議が挨拶。なかつか亮区議も参加しました。

なかつか亮プロフィール

1975年生まれ（41歳）／伊藤小、富士見台中出身／イタリア料理6年勤務後、03年に27歳で初当選／現在、区議4期、党区議団副幹事長／得意料理：パスタ／家族：妻

駅前宣伝 火曜日朝7時半～大井町駅、金曜日朝7時半～西大井駅、土曜日夕方4時～大井町駅